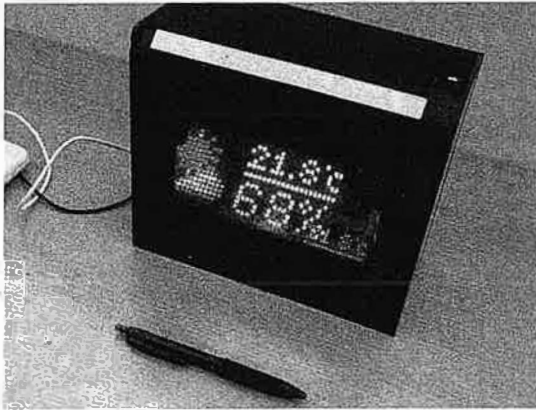


# 低コスト光学部品供給

## アノヴァ 事業化へデモ機試作

### 空中ディスプレイ向け



試作した空中ディスプレイのデモ機

【青森】ANNOVA（アノヴァ、青森県六ヶ所村、江利川晴夫社長）は、空中ディスプレイ向け光学部品の供給に乗り出す。同社が保有する薄板ガラスへの薄膜パターンニング形成技術を応用。宇都宮大学と共同で、再帰反射方式の空中ディスプレイに用いるビームスプリッターを開発した。今後は、サンプル出荷はじめ装置メーカーとの連携によるユニット化などの事業化を目指す。

アノヴァは表示器と特許を宇都宮大と共同再帰反射板を利用するで出願した。自社設備際の構造に用いる光をによる各種金属成膜は分割するビームスプリッターの製法に関するス、エッチング、検査

などの一貫生産により「短納期・低コストの供給が可能」（江利川社長）としている。空中ディスプレイは、光の反射を利用することで空中に映像を表示する。開発したビームスプリッターの基

材は薄板ガラス。耐候性は高温・高温試験による薄膜密着性を確認した。ガラスをカットすることで、多様なサイズの製品化が可能になる。アノヴァは、開

発品を搭載し、赤外線センサーと組み合わせた再帰反射方式の空中ディスプレイのデモ機を試作した。今後は関連する展示会などへの出展を通じて、サンプル出荷はじめ連携先などを探る方針だ。

アノヴァは2011年11月の設立。タッチパネル用センサー基板、液晶表示装置用カラーフィルター基板、有機EL用基板などを手がけている。